

Dynamic Weight Bearing test 2 (Incapitance test)

従来の Von Frey filaments や paw pressure vocalization test と非常に相関性のある結果を示す新しいテスト方式です。



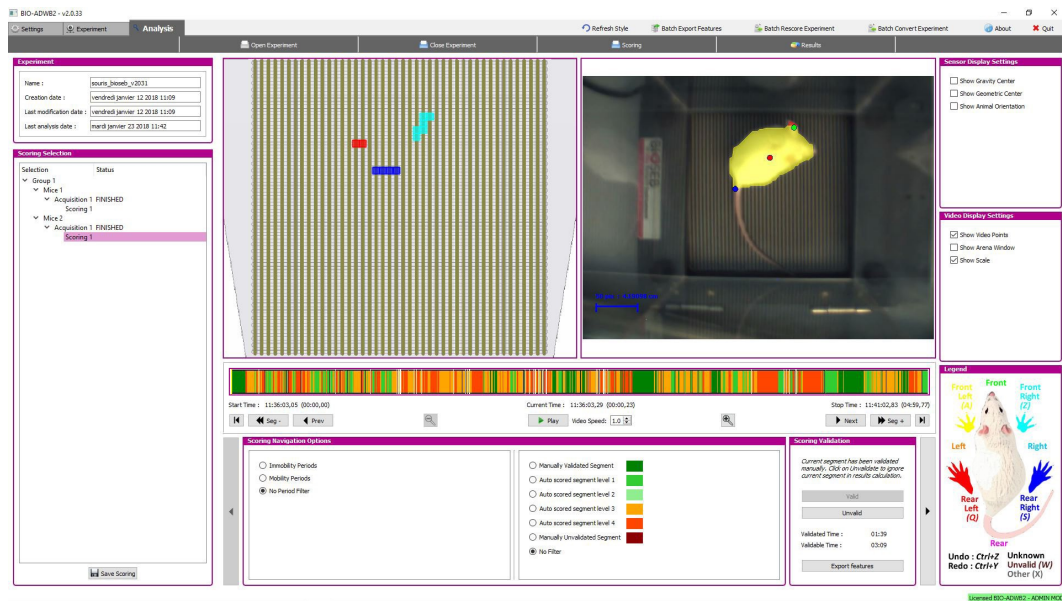
特徴

- ケージ内で自由に動きまわる小動物（マウス、ラット、モルモット）に対して、**Weight Bearing**テストを行うことができます。
- 体の重心を表示することが出来ます（新機能）。
- 拘束によるストレスを小動物に与えることはありません。
- ビデオカメラからのイメージと同期して各肢からのデータを取得します。
- 各肢からのデータは、**10Hz**のサンプリングレートで記録されます。
- センサーのキャリブレーションにより、システムの精度を保証します。
- 測定データは**Excel**形式で表示することができます。

Weight bearingテスト(Incapitanceテスト)は、直接的な刺激を行うことなく痛みの状態を測定することができる侵害受容研究において有名なテストです。

BIOSEB Dynamic Weight Bearing test 2

型式	構成部品
BIO-DWB2-M	マウス用DWBシステム(マウス用ケージ, マウス用センサーパッド, USBカメラ, インターフェース, 取込・解析ソフトウェア) ※取込/解析用ノートパソコンは含まれておりません。
BIO-DWB2-R	ラット用DWBシステム(ラット用ケージ, ラット用センサーパッド, USBカメラ, インターフェース, 取込・解析ソフトウェア) ※取込/解析用ノートパソコンは含まれておりません。
BIO-DWB2-DUAL	マウス・ラット用DWBシステム(マウス用ケージ, マウス用センサーパッド, ラット用ケージ, ラット用センサーパッド, USBカメラ, 取込・解析ソフトウェア) ※取込/解析用ノートパソコンは含まれておりません。
BIO-DWB-M-C	マウス用センサーパッド(交換用)
Bio-DWB-R-C	ラット用センサーパッド(交換用)



- ・ Dynamical weight bearing testは、外部に設置したカメラと、足元に設置したセンサーパッドで、ケージの中を自由に動きまわる小動物の四肢が支える体重をそれぞれ測定します。このことにより、人の主観が入らない定量的な測定を行うことができます。
- ・ 足元のセンサーパッドからのデータとUSBカメラのイメージは同期しています。また、平均値は10Hzのサンプリングレートでパソコン上に記録されます。
- ・ データの分析とリプレイは、現場またはリモートで行うことができます。分析とリプレイの間、オペレーターは各肢の認識をチェックすることができます。各肢の体重分布は、時間ごとの平均と変化係数をリザルト画面に表示します。

仕様		
Dynamical Weight Bearing test	BIO-DWB2-M (マウス用)	BIO-DWB2-R (ラット用)
全体サイズ	17 x 17 x 12cm, 1kg	30 x 30 x 25cm, 2.5kg
動物ケージ内サイズ(W x D x H)	11.5 x 11.5 x 11.5cm	25 x 25 x 24cm
センサー精度 / 解像度 / レンジ(g)	1 / 0.2 / 15~50	3 / 0.8 / 150~500
ケージ材質	PPC	

※このカタログに記載された内容は改良のため、予告なく変更される事があります。